

戦争法 各地で抗議

京都の高校生

未明に戦争法案採決が迫られた19日、高校生が「諦めず」に民主主義を守るため行動し



「諦めない」と声を上げる高校生たち＝19日、京都市

続ける」と京都市でデモを行い、700人が参加しました。主催は、高校生5人ほどでJMS「SCHOOL OF DEMOCRACY」。

制服姿の高校生を先頭に、学生や親子連れ、年記者など幅広い世代が「武力に頼る総理はいらぬ」「絶対、絶対

押し返すからな」と嘯和しました。主催者の一人、かいさん(16)は「戦争法が成立しても諦めない。次の選挙から18歳が選挙権を得る。政治に関心をもち、誰か任せにする



「戦争法廃止までたたかおう」とコールする参加者＝19日、国会正門前

時代は終わらした」との声明を読み上げると、参加者から盛んに拍手と声援が飛びました。

初めてデモに参加した高校一年の女子生徒(15)は「強行採決の場面を見て、国がこんなに狂っているなら私たちの世代から変えていかな、と思った」と話しました。沿道でデモを振っていた女子高校生(17)は「戦争が始まる法律で絶対反対。この動画をSNSで広げたい」と語りました。

大阪・西淀川

戦争法を強行採決した暴挙を許さないと「憲法改悪阻止西淀川共同センター」は19日、大阪市西淀川区の4カ所で街頭宣伝を行いました。

JR御幣島(みてじま)駅周辺での宣伝では「戦争NO」「ストップ！戦争立法」のプラカードなどを掲げ、通行人に「戦争法案に加担した議員を落選させ、自民党と公明党に痛打を浴びせましよう」と呼びかけました。訴えを聞いた地元の小学生在が「戦争は怖い。絶対にアカン」と宣伝に加わる場面もありました。飛び入り参加した中学3年生は

「自衛隊が海外で戦うなんてアカン。海外に行ったときに僕たちも危険にさらされる」といい、「反対(運動)に協力していきます」と語りました。

9/20
赤旗

戦争法 共同広げ廃止しよう

戦争法

総がかり行動など 国会前で集会

自民、公明両党などが戦争法案を参院本会議で強行可決し成立させた19日、総がかり行動実行委員会は国会正門前で、この暴挙に抗議し、廃止を求める集会を開きました。

な！実行委員会、「戦争させない1000人委員会」の代表が「共同をさらに前進させ、廃止に追い込もう」と訴えました。

もによい世の中を残すため、これからも声をあげていきます」と語りました。

日本共産党の畑野君枝院議員があいさつしました。

総がかり行動実行委員会はこの日、「戦争法のすみやかな廃止を実現するため全力を尽

東京・新宿で 共同センター

憲法共同センターと憲法東京共同センターは19日、同日未明の戦争法案強行成立に抗議し、戦争法の廃止を訴える緊急宣伝を東京・新宿駅西口で行いまし

た。6歳、4歳の娘と訴えを聞いていた、東京都杉並区で佐藤可奈子さん(31)は「審議のやり方が乱暴で許せません。戦争をする国を子どもたちに残したくありません。こんな法律は、私たちの声でなくしたい」と話しました。